



月号 クラスだより



～つぶやき特集～

ひよこ組

11月のねらい

- ・戸外や室内で探索を楽しむ。
- ・喃語や指差し、簡単な単語で思いを表現する楽しさを味わう。



「ねんね〜！」
くまのぬいぐるみに布が掛けてありました。
近寄ってきたAちゃんがくまのぬいぐるみをじーつと見つめています。
保育者「ねんねしてるね」
Aちゃん「ねんね〜！」
そう言いながらトントントンしていました。
いつもお昼寝の時にトントントンされているように…ではなく、ちよっぴり強い力でトントントンと寝かしつけている姿にクスツと笑ってしまいました。
「いつしよにふ〜！」
部屋にある風船を見つけると、ギューツと抱きついていくBちゃんとCくん。その風船を指差しながら欲しがっていたDちゃん。保育者が新しい風船を持ってきて
保育者「ふ〜！」
風船を膨らませていると、こどもたちも集まってきた
こどもたち「ふ〜〜！」
と一緒にしてくれました。ほつぺたを膨らませているお顔がなんとも可愛くて何度も息を、ふ〜！と吹いていたのでした。



11月のねらい

- ・靴を履いたり帽子を被るなど身の回りのことを自分でやろうとし、出来たことに喜びを感じる。
- ・季節の変化を感じながら散策を楽しみ、戸外では体を動かして遊ぶことを楽しむ。秋の自然物に興味をもつ。

りす組

「肋木でハシゴのぼりして遊んでいた時のこと」
Aちゃんがてっぺんまでのぼり
Aちゃん「Bちゃん」
下から見ていたBちゃんが
Bちゃん「Aちゃん、やつぽー」
Aちゃん「おいでー」
Bちゃん「いくね」
2人ともてっぺんまでのぼって笑い合い、高い所からの景色を堪能すると…
Bちゃん「いつしよにおりよつか」
Aちゃん「うん」
りす組のこどもたちも、言葉やこども同士での関わりが増え、このようにやりとりするようになりました。微笑ましい場面でした。
「紙パンツ」
着替えをしている時のこと
紙パンツをはかせてもらって自分でズボンを履きながら
Cちゃん…かみ〜のパンツはいいパンツ〜
そうよね〜今どきの紙パンツは性能も良くて履き心地いいんでしょうね。
気持ちよさそうに歌う姿にいつい笑ってしまいました。



うさぎ組

11月のねらい

- ・楽しい雰囲気の中で、自分の食べられる量をおいしく食べる。
- ・洋服の畳み方を保育者に教えてもらいながら知っていく。

「黒いへびさん美味しい」
 おやつに「ひじきおにぎり」が出た時、「ご飯の隙間からひじきがピヨンと出ていたので
 保育士「何かピヨン！って出てるね。それなあに？」
 Bちゃん「これは……黒いへびさん」
 保育士「え、黒いへびさんは食べれるの？」
 Bちゃん「たべれるよ」
 保育士「黒いへびさんおいしい？」
 Bちゃん「(食べてみて) おいしいー!!」



色々な物に見立ててみたり、みんなで会話を楽しみながら
 する食事は楽しくて、苦手な物でも興味を惹かれて「食べてみ
 よう」「おいしいかも」と思わせてくれますね。

「わかった！の閃き」
 給食で「きのこうどん」が出る日、調理さんが5種類のきのこ
 を展示してくれました。一つひとつ「これは…」と名前を知ら
 せ、その後にこどもたちにクイズを出しました。
 保育士「これなんんだ」
 Aちゃん「え？わかんない」
 保育士「え…え…え…」
 Aちゃん「わかった！え・だー!!」
 保育士「そうだね。細くて枝みたいに見えるもんね。これは、
 え・の・き」
 Aちゃん「えのきかあ」
 保育士「じゃあこれは？」
 Aちゃん「うーんと、きのこー!!」
 こどもたちの精一杯のお話が可愛くて微笑ましいです。



ちゅうりっぷ組

11月のねらい

- ・どんぐりや落ち葉など、秋の自然に興味をもち、遊びに取り入れる。
- ・絵本や紙芝居の世界を楽しみ、なりきって遊ぶ。

「お空がきれいだよ」
 Aちゃん「夕方テラスに出た時に「見てみて、お空
 がきれいだよ」
 保育士「本当だね、オレンジ色のところと青色
 のところがあるね」
 Bちゃん「かわいいお空だね」
 Cくん「花火みたいだね、この間見た花火に似
 てるよ」
 Bちゃん「たしかにねー花火がどどん！っていう
 時、こんな感じだった」
 Cくん「しばらくして暗くなり「あれ？花火が終
 わっちゃった…また、やってほしいな」
 Bちゃん「明日また見てみようか」
 花火のように見える感性が素敵です。
 次の日はすぐ真つ暗になってしまいました。」



「どんぐりの大きさ」
 公園で様々などんぐりを見つめ
 Dくん「見て、これ！でかかどんぐりだよ」
 Eちゃん「これは細いよ」
 Dくん「見比べて「もしかして食べすぎたのか
 な、甘いもの食べたのかも…」
 Eちゃん「Eちゃんのお腹みたいだね」
 かわいいやりとり。甘い物好きのどんぐりだった
 のですね(笑)」





さくら組



11月のねらい

- ・季節に応じた生活の仕方を知り、衣類の着脱など自らできることはやろうとする。
- ・イメージしたことを様々な素材や方法を使って表現する楽しさを味わう。

「魔法のメガネ」

ミツケの絵本がブームなさくら組。

精巧なジオラマ写真の中に隠されているものを探していくのですが、アラフィフ保育者には眉間のシワが深くなる細かさ小ささ…。そこで、必須アイテムを取り出して装着。保育士…「まあよく見える!」

と思わず言ってしまうと・・・

こどもたち…「魔法のめがね?」

その日からミツケを始めると、

Aくん…「魔法のメガネかけてよ!見つからないから一緒に探して!」

Bくん…「それずるい!!魔法のメガネしちゃだめ!」

二人とも真剣な表情です(笑)

謎解きを進めたいAくんと誰よりも先に見つけたいBくん。

ミツケの楽しみ方はさまざまです。



『秋ってなーんだ』

季節が変わったことを感じる最近。

保育士「“秋になった”ってどんなことがあるかなあ」

こどもたち「さむくなった!」

「柿ができてきた!」

「みかんたべた!」

「10月になった!」

「くりごはんたべた!」

こどもたちらしい答えがでてきました。

季節の変化を具体的に感じ、それを伝えるのはなかなか難しいこと。季節感を感じる会話をしていくことは大事ななと改めて感じる秋です。



もみじ組



11月のねらい

- ・秋の自然に触れ、遊びに取り入れるなどして自然の事象への関心を高める。
- ・身近な文字や数字に興味を持ち、遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。

「牛乳やりたい!」

近頃、給食やおやつ飲み物を準備するお手伝いに目覚めたこどもたち。

A「今日牛乳やりたい!」

B「あたし/ぼくも!」

保「助かるー!じゃあ、ここからよろしく」

A B C「やったー!」

C「牛乳、少なめがいい人(手を挙げて)！」

A「1・2…、今日3人だ!」

B「麦茶がいい人(手を挙げて)。んー、2人。」

C「じゃあ、あたし麦茶やるね!」

A B「オッケー」と言って牛乳を注ぎ始める2人」

自分たちで分担までして取り組んでくれます。さすがもみじ!」

「あきまつり」

ある日の散歩帰り

A「前に夏祭りやったみたいにな、秋祭りやろうよ!」

保「いいじゃん!何やるの?」

B「ホールに秋祭りの絵本あるよね」

A「たしかに!おみくじとかあった気がする!」

B「帰ったら見てみよ!」

…あれから2週間経ちますが、まだ動きはありません。

